

イノベーション創出の具体化に向けて ～Create Innovation～

平成19年11月26日
内閣府特命担当大臣
(科学技術政策)
岸 田 文 雄

講演内容

I. 日本の科学技術、イノベーション政策の概要

II. イノベーションの実現に向けた具体的政策

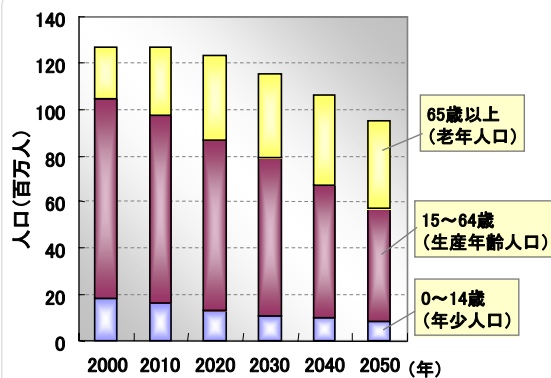
- ・社会還元加速プロジェクト
- ・地域科学技術クラスター
- ・研究資金の拡充と制度改革
- ・科学技術外交
- ・知的財産戦略

III. 世界主要国のイノベーション戦略

日本、世界の今後の課題

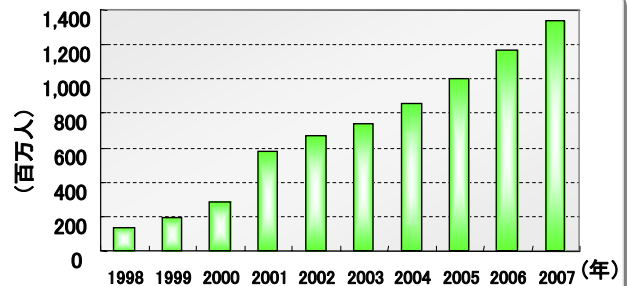
- 日本の人口減少・高齢化の急速な進展
- 知識社会・情報化社会及びグローバル化の爆発的進展
- 地球の持続可能性を脅かす課題の増大

日本の人口の推移



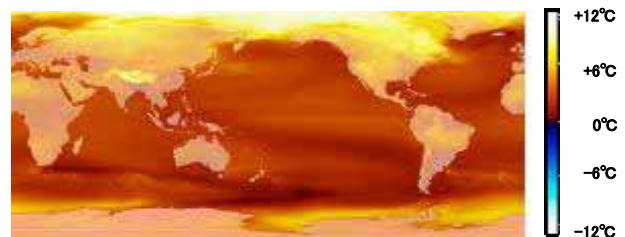
資料: 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」より作成

世界のインターネット利用者



資料: (財)インターネット協会 「インターネット白書2006」より作成

100年後の平均気温上昇の分布



「IPCC第4次報告書」より

鍵はイノベーション

日本は人口減少国家へ

唯一の持続可能な経済発展の手段は、生産性の向上

イノベーション

既存のものに新しいものを吹き込み、新たな富、価値を創造すること

単なる「技術革新」という狭義の概念ではなく、**広く社会のシステムや制度をも含めて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことを指す。**

日本が目指す「イノベーション立国」とは・・・

個々人の能力が最大限発揮される活力ある社会

長期戦略指針「イノベーション25」

科学技術基本計画(第3期)

両輪として推進

第3期基本計画の理念

政策目標の明確化(6つの大目標、12の中目標)

<理念1> 人類の英知を生む

飛躍知の発見・発明

～未来を切り拓く多様な知識の蓄積・創造

- (1) 新しい原理・現象の発見・解明
- (2) 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造

科学技術の限界突破

～人類の夢への挑戦と実現

- (3) 世界最高水準のプロジェクトによる科学技術の牽引

<理念2> 国力の源泉を創る

環境と経済の両立

～環境と経済を両立し持続可能な発展を実現

- (4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服
- (5) 環境と調和する循環型社会の実現

イノベーター日本

～革新を続ける強靱な経済・産業を実現

- (6) 世界を魅了するユビキタスネット社会の実現
- (7) ものづくりナンバーワン国家の実現
- (8) 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化

<理念3> 健康と安全を守る

生涯はつつつ生活

～子供から高齢者まで健康な日本を実現

- (9) 国民を悩ます病の克服
- (10) 誰もが元気に暮らせる社会の実現

安全が誇りとなる国

～世界一安全な国・日本を実現

- (11) 国土と社会の安全確保
- (12) 暮らしの安全確保

投資の総額規模(5年間で約25兆円)

基礎研究

着実に推進

政策課題対応型研究開発

選択と集中の一層の徹底

8分野に重点化

- ・ライフサイエンス
- ・情報通信
- ・環境
- ・ナノテクノロジー・材料、等

講演内容

I. 日本の科学技術、イノベーション政策の概要

II. イノベーションの実現に向けた具体的政策

- ・社会還元加速プロジェクト
- ・地域科学技術クラスター
- ・研究資金の拡充と制度改革
- ・科学技術外交
- ・知的財産戦略

III. 世界主要国のイノベーション戦略

イノベーションの実現に向けた具体的政策

世界のイノベーション競争の中で・・・

- イノベーションの種(例: 科学技術)をいかに早く効率的に育て社会に適用していくか
- イノベーションの種が結実しやすい社会の仕組みをいかに構築していくか

「イノベーション立国」に向けた社会システム改革戦略

1. 早急に取り組むべき課題
(146項目)

2. 中長期的に取り組むべき課題
(28項目)

- 社会還元加速プロジェクト
- 地域科学技術クラスター
- 研究資金の拡充と制度改革
- 科学技術外交
- 知財戦略
- 次世代を担う人材投資
- 独法改革
- 大学／大学院研究システム改革

政策は、「個別産業育成型」、「政府牽引型」から「環境整備型」へ

社会還元加速プロジェクト

目的

要素技術を融合し、実証研究を通して成果の社会還元を加速することを特徴とする先駆的なモデルとしてプロジェクトを創出

施策の概要

「イノベーション25」で目指す2025年の日本の姿を実現

